

Topics of the month

<新しいお遍路のカタチ> 篠栗四国霊場と森を巡る マイクロツーリズム造成事業に参画



福岡市の東部に位置する福岡県糟屋郡篠栗町は、広大な山々と緑豊かな自然に恵まれ、古くから「篠栗四国霊場」と呼ばれる全長50kmというコンパクトながら高低差に富んだ起伏のある遍路道が広がります。

ピーク時の昭和30年代は年間100万人の遍路参拝客が訪れましたが、近年は時代の流れとともに日本人の遍路参拝客は減少し、参拝客の高齢化も進んでいることが課題でした。

そこで、一般社団法人篠栗町観光協会は観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業を活用し、凸版印刷株式会社、九州トレイルランニング協会とともにこの課題解決に向け、若年層をはじめとした多世代の取り込みに注力するとともに、それに対応するコンテンツを開発することで協力し、FFGビジネスコンサルティングもその支援をさせていただきました。



▲三浦篠栗町長によるご挨拶



▲弊社から2名がモニター試走に参加しました



▲モニター試走スタート

古来より高僧や修験者も歩いたであろう、その遍路道を活用した「トレイルランニング大会」の開催を企図し、約6・3kmのトレイルランニングコースづくりを実施しました。そして造成したコースの試走イベントを

開催し、次年度からの本大会開催に向けた実証調査を実施しました。
このコーナーでは2021年2月20日(土)に開催しましたモニター試走の様子をご報告いたします。



▲お寺や札所のそばを疾走



▲悪路走破も何のその



▲コースには難所も待ち受ける



▲エイド地点の米ノ山山頂で記念撮影



▲試走後には若杉の湯で疲れを癒す



▲クリエイティブ篠栗で行われた本大会に向けてのワークショップ

試走イベント参加ランナーからは「自然のままの森を走る面白さ」「修験者や高僧が歩んだ道という靈験あらたかな雰囲気」が清々しい」などの高評価をいただきました。来町リピート

の可能性を感じさせつつ、これまで「お遍路」に触れたことのないランナーが遍路道を巡り、歴史と文化を体感することで、「お遍路」への興味を持つきっかけとしてほしいと思います。